

働く人の「幸せ」が 企業に成長をもたらす

「仕事とはつらいもの」という考え方が、長く根づいてきた日本。
一方、アメリカの企業では、以前から社員の幸福感を高めることが経営課題となっているという。
今の日本企業における働く人の幸せとは一体どんなものか。
2人の専門家のインタビューを通して、
現代に求められるマネジメントの在り方を探る。

取材・文 長野 修

デジタル化や働き方改革が進み、リモート会議など便利なツールも浸透してきた。業務の負担が軽減された一方で、働く人の“心”はどうだろう？



ながの・おさむ
1960年生まれ。新聞社、編集プロダクションを経て、
96年よりフリーライター。2005年、小説「朱色の命」
で日本海文学大賞を受賞